

三井造船争議 勝利解決

長い間 ご支援ありがとうございました



三井造船本社要請



玉野簡易裁判所にて和解

「人間らしく働ける」
ルールづくりをめざして

日本国憲法第十四条は、「すべて国民は法のもとに平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない」と規定しています。約半世紀にもおよび、三井造船の思想差別・人権侵害は、この憲法を踏みにじり続けてきた歴史でした。これに対し、十二人が立ち上がり、謝罪と損害賠償を求めたたたかいの勝利は、憲法が定める職場の自由と平等の実現に大きな一歩を切り開いてきた成果です。

企業の無法な思想差別や人権侵害は、労働者のたたかいと団結、連帯をはばみません。この勝利は、不安定な雇用や低賃金、不当な労働行為のもとで苦しめられ、声をあげていく多くの労働者を励ますものです。

この間、国会での追求、厚生労働省への申し入れ、玉野労働基準監督署への要請行動など、日本共産党もみなさんと一緒にたたかってきただけに大きなよるこびです。

三井造船での勝利を土台に、働くものの未来を切り開き安心して働き続けられる社会、「人間らしく働くことができる」ルールづくりをめざし、国の政治をかえていきたいと思います。



日本共産党元衆議院議員
中林よし子

三井造船の人権侵害をやめさせる支援共闘会議
三井造船争議を支援する玉野の会／三井造船の人権侵害をやめさせる会
2008年7月 住所 岡山県玉野市玉原2-18-28 TEL(0863)31-2138

思想差別・人権侵害争議解決にあたって

三井造船の人権侵害をやめさせる会

5月26日、三井造船との間で約半世紀に及ぶ思想差別・人権侵害が解決しました。私たち12人が、三井造船の「非健全派(日共・民青)従業員名簿」という極秘差別リストを入手し、三井造船に謝罪と損害賠償を求めてから4年、市民の皆様や三井造船で働いている皆様からの物心両面のご支援に支えられて闘い、勝利解決できましたことに、心から感謝とお礼を申し上げます。

争議の始まり

私たちが、三井造船で働き始めた1950年代は日本の戦後復興期で、日本の平和と生活向上、職場の安全を求める運動が盛り上がり、暮らしが大きく前進した時期、私たちは労働運動に参加してきました。一方、三井造船経営者は、労働運動を押さえ込むことを目的に、社内で極秘に差別名簿を作成、活動家に対する徹底した差別と人権侵害を始めました。その結果、それまで積み上げてきた「人間として働き生活する権利」が奪われ、大量の人員削減で多くの労働者が職場と生活の糧を失うことになりました。

私たちは、自らの差別と人権侵害に対する是正を求めると同時に、三井造船の横暴をやめさせ、労働者の暮らしと権利を守る運動をしてきました。

働くルール

いま職場に蔓延している「人権が尊重されない」「労働法が守られない」「自由にもの言えない」などの原因の一つに徹底した思想差別があげられます。

残業代が払われない、過労死が心配、心の病が増える、正規従業員に代わり非正規の派遣やパート労働者が増え、偽装請負などが企業の将来に影響を及ぼす事態が社会問題となっています。

私たちは、争議解決にあたって、三井造船経営者の決断を評価するとともに、社会に信頼される企業として将来にわたり一層発展するためにも、前近代的な労務政策を改め、人間らしく働くことができるルールの確立を願うものです。

三井造船との「和解」にあたって

日本の造船・重機産業で、職場と労働者を支配するために行われてきた賃金・思想差別と人権侵害が、三菱重工・IHI(石川島播磨重工)、川崎重工、住友重機械に続き三井造船で解決しました。

私たちは、画期的な勝利を機会に、日本の平和、劣悪な労働条件と職場環境、派遣労働や偽装請負など山積している課題への取り組みを強める決意を新たにしているところです。

職場から、違法行為をなくし、働くルールの確立をめざして、これからも運動を続けることを表明して争議終結とします。

三井造船の人権侵害をやめさせるたたかいにご支援いただいた皆様、大変お世話になり、ありがとうございました。



毎年メーデーで訴える争議団



厚労省、国交省、防衛省に要請



4年間、毎週続けた三井門前での訴え



正門前抗議集会

思想差別

人権侵害

闘いのあゆみ



株主総会出席、三井本社前にてビラ配布



岡山労働局、人権侵害、サービス残業等是正要請

職場の民主化へ大きな一歩

三井造船争議を支援する玉野の会 代表 萱 栄次

数十年にもおよぶ長い長い道のり、12名の争議団のみなさま、本当にごくろうさまでした。今回の勝利解決、心よりお慶び申し上げますとともに不屈の闘いに深く敬意を表します。

また、「三井造船の人権侵害をやめさせる支援共闘会議」をはじめ県内各地、さらには全国から多くの方々の支援・お力添えをいただきましたことに、地元の会として厚く御礼を申し上げます。次第です。

思えば、長年にわたる不当な人権侵害、昇給・昇格差別や隔離部屋など非人間的な扱いや周囲の偏見の目に、当事者・ご家族のみなさまの苦しみは筆舌に尽くし難いものであったと思います。

しかし、今やっと長年の暗闇を抜け、明るい視界が広がってきました。多くの仲間「職場

の民主化」への大きな一歩・礎（いしずえ）を築られました。「正義は必ずや勝利する」ことを私たちに教えてくださいました。

みなさまの粘り強い闘いの結晶を教訓として今後に活かしていくことを誓い、重ねて、祝意と感謝を申し上げ、関係者みなさまのますますのご活躍を祈念するものです。



厚労省交渉—アスベスト被害、偽装請負、派遣労働、労働災害追及



防衛省交渉—民間労働者の戦地派遣、情報保全隊スパイ活動追及